## 2023 年度春学期 定期試験問題

# ミクロ経済学[MF]

(担当教員:蓮見 亮)

### 【注意事項】

- 1. 解答用紙は<u>記述解答用紙とマークシートの 2 枚</u>です。マークシートは解答欄の問1~61まで 1 個ずつ鉛筆等でマークして解答すること。
- 2. 開始の合図があったら、2 枚の解答用紙に氏名、フリガナ、学籍番号を記入すること。マークシートには、<u>番号欄に左詰めで7桁の学籍番号を記入し、マーク</u>すること。さらに、日付欄(空欄でよい)の右の空欄に「<u>ミクロ経済学</u>」と記入すること。
- 3. 学生証を忘れた学生は、今すぐ教務課で「学生確認証」の交付を受けてください。学生証は表にして、常に試験監督者が見える位置に置いてください。
- 4. 使用できるのは、<u>筆記具、電卓</u>(通常の計算機能のみを有するものに限る) および時計のみです。それ以外のものは、鞄の中に格納して下さい。携帯電話 は、電源が切れているか再確認の上、鞄の中に格納して下さい。携帯電話を、 電卓や時計の代わりとして使用することはできません。
- 5. 隣の空いた机の上には何も置かないでください。鞄等は足下か椅子の上に置くこと。

問題 1. ある財の需要表が以下のとおりであるとする。

価格(ドル)	需要量
14	5
10	10
5	20
3	30

- a. 需要の価格弾力性とは何か、答えなさい。記述欄 1a
- b. 価格が $P_1$ から $P_2$ に変化したとき需要量が $Q_1$ から $Q_2$ に変化したときの需要の弧弾力性は

$$-\frac{(Q_2-Q_1)/[(Q_1+Q_2)/2]}{(P_2-P_1)/[(P_1+P_2)/2]}$$

と定義される。

以下のように価格が上昇した場合の、需要の弧弾力性を計算しなさい。

- (ii) 5 ドルから 10 ドルへの上昇 3.4 。
- (iii) 10 ドルから 14 ドルへの上昇 5.6
- c. 以下のように価格が上昇した場合に、支出は増加するだろうか、減少するだろうか。増加の場合 1、減少の場合 2、変わらない場合 0 をマークしなさい。
- (i) 3 ドルから 5 ドルへの上昇 7 。
- (ii) 5 ドルから 10 ドルへの上昇 8。
- (iii) 10 ドルから 14 ドルへの上昇 9 ,
- d. 設問 b. の答えから、設問 c. の答えも予測できる。その理由を答えなさい。 記述欄 1d

問題 2. 以下は、ある中小企業の 2 つの工場で、ある財を生産するときの長期費用曲線である (費用の単位はドル)。財の価格は 61 ドルであるとする。

第1工場

第2工場

714				//v = == ///					
生産量	総費用	平均費用	限界費用	生産量	総費用	平均費用	限界費用		
1	50	50	50	1	20	20	20		
2	106			2	52				
3	164			3	90				
4	224	(i)	(ii)	4	130				
5	287			5	175				
6	355			6	227				
7	430			7	285				
8	520			8	345				
9	618			9	407		(iii)		

a.	表の(i)	(ii) (iii	)に当てはまる数値をマークし	なさい。

(i)		10		11		(ii)		12		13		(iii)		14		15		0
-----	--	----	--	----	--	------	--	----	--	----	--	-------	--	----	--	----	--	---

b. このとき企業の利潤を最大にするためには、各工場でいくつ生産すればよいか。

第1工場 16 、第2工場 17 。

c. b. のとき、企業の利潤はいくらになるか。 18 19 20 。

d. 新しく就任した生産担当者は、全ての生産を平均費用の低い工場 2 に集中すべきだと考えた。この企業が工場 2 だけで生産するとすれば、利潤を最大にするためには、どれだけ生産すべきか。またそのとき企業の利潤はいくらになるか。ただし、固定費用はゼロと仮定する。生産量 21 、利潤 22 23 24 。

**問題 3**. 都心と郊外を結ぶ道路は、混雑していなければ 20 分で目的地に到着するが、ラッシュ時には渋滞する。仮に 100 人がラッシュ時にその道路を利用すると、到着までに 30 分かかり、101 人目が道路に入ると、全員の速度が下がるので全員が 31 分かかるようになる。ここで人々は自分たちの時間に 1 時間あたり 1200 円の価値があると考えているとする。

a. ラッシュ時に道路を利用する 100 人の社会的費用の合計はいくらだろうか。ただし、社会的費用は 20 分で到着する場合には 0 とする。 25 26 千円。

b. a.のとき、101人目の道路の利用者の社会的限界費用はいくらになるだろうか。

### 27 28 29 30 円。

c. 市長は、道路を利用する最後の1人のドライバーが他のドライバーに与える費用と同額を、道路使用料として徴収しようと考えている101人目の道路の利用者の利用料はいくらに設定すればいいだろうか。

#### 31 32 33 34 円。

d. 昼の12時には、この道路を50人が利用するとしよう。このときには渋滞はなく、目的に到着するには20分しかかからない。51人目のドライバーが道路を利用したとしても、誰もスピードを落とす必要はなく20分で都心に到着する。昼間の道路使用料はいくら設定すればいいだろうか。理由を添えて答えなさい。記述欄3d

問題 4. 以下の表は、携帯電話の需要と供給である。次の に当てはまる数値を答えなさい。

72 91 2 1 0		
価格(百ドル)	需要	供給
2	10	0
3	9	0
4	8	0
5	7	1
6	6	2
7	5	3

価格(百ドル)	需要	供給
8	4	4
9	3	5
10	2	6
11	1	7
12	0	8
		•

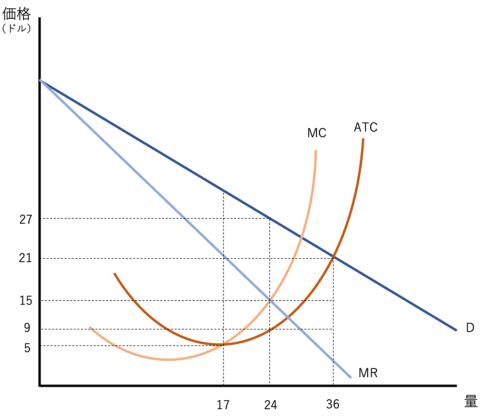
- a. 携帯電話市場の均衡価格は 35 百ドル、均衡量は 36 である。
- b. 携帯電話市場の消費者余剰は 37 百ドル、生産者余剰は 38 百ドル、社 会的余剰は 39 40 百ドルである。
- c. 政府が携帯電話の上限価格を 6 百ドルに設定したとしよう。このとき市場では、6 百ドルで取引される携帯電話は 41 台になる。
- d. 携帯電話の上限価格が 6 百ドルに設定されたときの死重損失 (死荷重) は 42 百ドルである。
- e. 政府が携帯電話の下限価格を 10 百ドルに設定したとしよう。このとき市場では、10 百ドルで取引される携帯電話は 43 台になる。
- f. 携帯電話の下限価格が 10 百ドルに設定されたときの死重損失(死荷重) は 44 百ドルである。

問題 5. 以下のような需要に直面する独占企業の立場で考えてみよう。ただし、この財を 生産するときの平均費用と限界費用は一定で 12 ドルとする。

生産量	価格(ドル)
1	20
2	18
3	16
4	14

a. 以下の各場合の限界収入を求めなさい。
(i) 生産量を 1 から 2 に増やした場合。 45 46 ドル
(ii) 生産量を 2 から 3 に増やした場合。 47 48 ドル
(iii) 生産量を 3 から 4 に増やした場合。 49 ドル
b. 利潤を最大化する生産量と価格を求めなさい。複数存在する場合は生産量が多い方を答
えること。生産量 50 、価格 51 52 ドル
c. b. のときの利潤を求めなさい。 53 54 ドル

問題 6. 以下の図には、独占的競争企業の、短期需要曲線(D)、限界収入曲線(MR)、平均総費用曲線(ATC)、限界費用曲線(MC)が示されている。



- b. そのときの価格を求めなさい。 57 58 ドル
- c. この企業の利潤を求めなさい。損失を出している場合はマイナスをつけて解答するこ
- と。 59 60 61 ドル
- d この産業には、参入は起こるだろうか、それとも退出が起こるだろうか。理由を添えて答えなさい。記述欄 6d